



中高交流学力向上事業発足会・・・市教委が招集

去る 4 月 15 日(火)に飯山市教育委員会が主催者となり、「中高交流学力向上事業」の発足会が飯山市役所で開催されました。この事業は「小・中・高をつらぬく飯山カリキュラムの研究と開発」に対して県からの教員加配を受けて、市教委が主体的に関わる形で実現しました。このことは、この地域の維持発展のために、教育は重要な課題であり、地域を担う人材を育成するためにも、小学校から高校までを視野に入れた教育を考える必要性があるという考え方に立脚しています。



(城山の桜がもうすぐ満開)

2 年後に中学校の統合、5,6 年後には高校の統合を控え、この地域のすべての子どもたちの学力向上のためには、小・中・高の連携がますます大切になっていきます。今年度は、まずは数学の教科で、中高の連携を考えて研究開発に取り組んでいきます。ご支援よろしくお願いたします。

飯山カリキュラム（通称 IC）委員会の事務局は飯山北高校内に設置

IC 委員会事務局長・・・渡辺藤夫(飯山北高校 数学科)

IC 担当教員・・・平塚和行(飯山北高校 数学科 前任校 長野吉田高校)

篠原謙治(飯山市立第二中学校 数学科 前任校 城山小学校)

飯山北高校数学研究室の隣に IC 委員会事務局の部屋ができました。



★まずは中学・高校の課題を共通理解することから始めます★ 二中 3 年生の数学の講座と担当者

IC 担当教員の平塚 T と篠原 T は、それぞれ中学・高校で TT を組みながら授業を行ない、それぞれの学校の生徒の実態と課題を共通把握しようとしています。平塚 T は、二中の 3 年生の講座を 4 時間、篠原 T は飯北の 3 年生の数学 IA の講座を 3 時間担当することになります。現在は、中学の授業は篠原 T が、高校の授業は平塚 T が中心になって進めています。様子がわかってきたところで交代することも考えています。授業交流の目的は主に次の 3 つであると考えています。

講座名	担当者	人数
A 講座	江村	23 名
B1 講座	原	25 名
B2 講座	平塚・篠原	25 名
C 講座	斉藤	12 名

- ・両教諭が、中学、高校の授業を互いに担当し合う中で、中高それぞれの教科指導（教育課程・授業方法・教材開発・教具開発・評価等）について課題を共有し、学力向上に向けて研究・企画・実践を行う。その成果は近隣関係校とも共有していく。
- ・担当者だけではなく、両校の数学科の職員が互いに授業公開し、交流をすることによって、相互理解を深める。
- ・IC の具体化に向けて研究を進める手がかりをつかむ。また、小学校の様子を把握しながら、小学校との連携の可能性についても研究を進める。

飯山北高3年 125名 選択講座

選択帯	講座名	担当	生徒数	講座名	担当	生徒数
A 帯	数学ⅢC 講座	大池	17 名	理数Ⅱ	萩本	16 名
B 帯	数学ⅢC 講座	渡辺	18 名	理数Ⅲ	萩本	17 名
	数学ⅡB 講座	笠原	18 名	理数Ⅲ	畑田	26 名
D 帯	数学ⅠA 講座	篠原・平塚・火・金	21 名	篠原・渡辺(月)		
F 帯	数学ⅡB 講座	萩本	27 名			

授業交流による効果は、早くも各校で現われ始めています。まず何より、高校側では中学の先生の授業は新鮮であり、篠原 T は高校生の授業の様子は、中学生への指導に際して、大変参考になると言っています。生徒も TT の形式の授業を好意的に受け止め、多くの生徒が、それぞれの先生に積極的な質問をし、学習への意欲を高めています。

また、小中で使われている「ジャマイカ」という計算教具を紹介していただいたり、高校で使っている問題作成ソフトを紹介しあうなど、両校の数学科にとってもプラスになっています。



北高 3 年生数学ⅠA 講座の授業



二中 3 年生 B2 講座の授業